

新型コロナ禍における米の需給調整及び米価下落・稲作経営農家
支援対策を求める意見書

令和３年産米の概算金については、本県をはじめとする全国の米産地で大幅な下落となり、所得が減少した稲作農家への支援対策が課題となっています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から、業務用米を中心に需要が落ち込んだことで全国的に持ち越し在庫が高止まりし、需給が見通しにくいこと等が下落要因となっています。

令和３年産米の生産については、市町村再生協議会と稲作農家の努力により飼料用米等への作付転換が過去最大規模で行われたものの、令和４年６月の民間在庫量は２１０万トンの高止まりの予想となっています。さらにコロナ禍による需要減や今後の作柄次第では需給バランスが崩れ、価格下落・低迷が継続していく懸念があります。

地域農業の永続的発展に向けて、稲作農家、担い手経営体が将来の水田農業経営を展望できるよう、そして米の需給環境改善による所得確保と経営安定が図られるように下記事項の方策を講じることを求めます。

記

- １ コロナ禍による予期せぬ需要減等により発生した過剰米在庫については、政府備蓄米の運用改善等を含め市場隔離施策を実施すること。
- ２ 米の需要減少等により需給が大幅に緩和した場合は、迅速かつ的確な対策を講じ、需給環境の改善を図ること。
- ３ コロナ禍における生活困窮者や学生、子ども食堂、フードバンクへの国産米提供等による消費拡大の取組に向けた支援拡充を図る等、需要促進・拡大対策を積極的に講じること。
- ４ コロナ対策の一環として、次期作にむけた経営支援対策を講じること。

令和３年１１月２９日

宮城県美里町議会議長 大 橋 昭太郎

衆議院議長 細 田 博 之 殿

衆議院議長	細	田	博	之	殿
参議院議長	山	東	昭	子	殿
内閣総理大臣	岸	田	文	雄	殿
財務大臣	鈴	木	俊	一	殿
農林水産大臣	金	子	原	二	郎殿